

「たくあしくん」って何？

実は私はシステムオリジンの名刺の他に、株式会社タクシーアシストという会社の社長としての名刺を持っている。名刺の表には東京都知事登録旅行業第315972号と書いてあり、名刺の裏には「たくあしくん」というロゴがはいっている。この会社は2007年8月に「タクシー事業の需要を増やすお手伝い」を目的に創業された会社で、



福岡で「プレママタクシー」など新しいサービスに挑戦されている大稲自動車企画部門会社である株式会社マネージメントアイとの共同出資の会社である。以前、タクシーの利用者のニーズを把握しようと、タクシーサイトや調査会社などを使ったアンケートをしたことがあった。その中で利用者の不満のトップにきたのが、意外に運賃や接遇の問題ではなく、タクシーの運賃が目的地に着かないとわからないという事であった。であれば、この問題を解決すればタクシー利用者でも利用者が増えてくれるのではないかと、という期待を持った。そこで「運賃先決め注文支援サービス」としての「たくあしくん」のアイデアが誕生した。

「たくあしくん」の法的スキームは？

しかし現行の道路運送法では、運賃についてはメータ機と貸切時

清野吉光氏のコラム 第21回

団塊 耕 志 録



清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な職業に従事。1976年清水市の日の丸交通入社。1980年静岡市内の事務機器センターに入社。1982年システムオリジンを仲間と創業、専務取締役。1992年代表取締役社長就任。2000年㈱タクシーサイト創立、現取締役会長。2007年タクシーアシスト代表取締役社長に新任。現在に至る。

「活性化」のひとつの手段として!

間制の運賃を合法としており、任意の地点間の事前の運賃設定を認めていない。利用者利便と現行法の規定との矛盾を解決する方法がないものかと、2年に渡って様々な人々、機関とも相談を重ねた。一番良い方法は現行の運賃決定方法の他に、出発地と目的地の距離計算を行い、それに時間運賃の係数をかけた電子的想定を運賃の設定の選択肢として、法的に認めて貰う事だ。現在のIT技術からすれば十分可能であり、またその計算根拠をメータ料金の算出基準と同じにすれば、一部で危惧のある安売り運賃の道具に使われるという事もない。行政の意向としても利用者利便に繋がる仕組みであるので、むしろ道路運送法施行規則の中で、そういう運賃設定の仕組みを作って行きたいという話しも聞いた。どちらにしても、そうした事が実現するのは時間がかかるので、現行の法的枠組みの中でこのサービスが実現できないかと考えた結果、株式会社タクシーアシストという旅行

会社を作り、そこで利用者に時間料金も含むメータ料金を電子的に算出、提示し、手配旅行としてタクシーアシストがタクシー事業者に依頼し、タクシー事業者には貸切運賃で運行してもらい、生じた金額の差額を旅行会社のタクシーアシストとタクシー事業者で相殺をするという仕組みを考えた。さらに大事なポイントとして、タクシーアシストはこのサービスの裏方に徹し、タクシー事業者自身のみずからの利用者向け、固定客拡大のツールとしてこのサービスを使って頂ける仕組みとして開発したことであった。逆に言えば、旅行会社としてのタクシーアシストが集客するという仕組みではないため、自らお客様への営業を考えない会社には、あまり適さない。

同一地域同一運賃!

また電子的計算の基になるメータ運賃は、その地域の上限運賃に合わせることにし、仮に地域で安い運賃で運営するタクシー事業者

がこの「たくあしくん」のサービスを採用しても、上限運賃で計算される安い運賃は採用されない。「たくあしくん」が提供する利用者利便は「先決め機能」に特化している。また参加するタクシー事業者自身が「たくあしくん」サービスに提供する車種、台数、時間帯、最低引受金額を任意、随時に設定でき、自社の実情と自主的判断のもとで運用できるようにシステムが組み立てられている。株式会社タクシーアシストの会社の目的は、あくまでもタクシー事業の発展であり、そのためには何よりも利用者を増やし、利用者利便に添えていくサービス、仕組みを作らねばならない。そのお手伝いが我々の役割であり、一部に「たくあしくん」のサービスとタクシーアシストをタクシー業界への寄生と捉えられていることは、非常に残念である。株式会社タクシーアシストは設立して2年余を経過し、全国に20社ほどのタクシ

観光庁の理念
私たちは、「観光立国の実現」を通じて、我が国経済社会の活性化、活力に富んだ地域社会の実現の促進、国際観光立国の推進や国際平和の実現、健康で文化豊かな生活の実現などに貢献します。

観光庁の役割
このため、具体的な目標を定めて、以下のとおり「任んでよし、試みてよし」の取組を行います。

観光庁のビジョン
私たちは、国の発展の新しい原動力として、「開かれた観光庁」として新しい産業と観光文化の創造に貢献し、一人一人が誇りを持ちます。

観光庁の使命
観光、地方創生、地域活性化の促進、新しい価値の創出、多様な価値観の尊重、社会の発展に貢献することなく、無難を避けてスピード感を持って、迅速に成果を出します。

観光庁の目標
確かな実績を挙げ、世界のプロセスや結果を公開します。専門性の向上に努め、観光に関する幅広い知識を蓄積します。国との協働によるコミュニケーションを推進し、事業やサービスの質を向上させます。

スを展開していただいている。初期費用も頂かず、また月額定額料金もなく、実際にたくあしくんのサービスの利用があったときのみ、その利用された運賃金額に関係なく80円頂いている。はっきり言って超大赤字であり、通常の経営判断からすれば即刻撤退せねばならぬ事業とも言えるが、しかしオリジングループ&マネージメントアイの志からすれば、そう簡単に引き下がることはできない。タクシーという産業を経営者、乗務員にとって、もっとやりがい、生きがいのある産業にするためには、利用者を増やす努力が不可欠であり、それにつながるサービスメニューの試行錯誤はさけて通れない。利用者のニーズがある

成長戦略としての観光

以上、それにチャレンジする必要はある。実際、さらにたくあしくんの仕組みを深めた「ままたくわたり」をトライし始めた。特措法が休、減車を軸として適正化と一方で利用者利便の向上の活性化を求めているとき、是非タクシー産業活性化の一手段としてこの「たくあしくん」とタクシーアシストを活用して頂きたいと心から思う。

国土交通省の成長戦略が発表され、その中で、観光、とりわけインバウンドと言われる海外の旅行客の国内への誘致が、大きな目標となっている。現在800万ほどの訪日客を3000万に増やし、日本の成長の一つの柱にしようとしている。当然、訪日客の中で観光タクシィやハイヤーを使う富裕層も増えるであろうし、むしろタクシィ産業が積極的にこの分野を開拓する必要がある。そしてこれを旅行会社主

導ですすめるのではなく、業界自身がその仕組み、ノウハウを構築する必要が有る。しかし体力と人材に恵まれた大手タクシィ事業者を別として、多くのタクシィ事業者にはこうした訪日外国人、あるいは国内観光を集客するノウハウを自力で持つことはなかなか難しい。タクシィアシストでは是非この分野でもタクシィ事業者の裏方としてインターネット上でのインバウンド、国内観光の仕組みを作り、タクシィ事業者さんの自らの事業として観光タクシィを運営できるように仕組みを作り上げて行きたいと思っている。残念ながら我々自身に未だ観光事業のノウハウがないので、様々な人と連携をしながら、懸命に勉強をして、そうした力をつけて行きたい。タクシィが斜陽産業と言われて久しいが、日本国全体の成長戦略と結びついて、成長の為にエネルギーを取り込む努力を是非共に挑戦したい。

(2010年6月20日記)

プリンター一体型業務用アルコール測定器

ALC-miniⅢ

¥83,000より

アルコールだけに反応 音声ガイドで簡単操作

コンパクトなボディにプリンタ機能搭載！
吹き込む・測定する・記録する、の
カンタン3ステップアルコール測定！

※表示金額には消費税、保守料等は含まれておりません。

お申し込み
お問い合わせ

株式会社 システムオリジン Tel.03-3834-8352

関東支店営業本部 〒101-0021 東京都千代田区外神田 5-3-4 田中ビル 7F 拠点/北海道・東北・関東・甲信越・東海・名古屋・関西・中国・九州

2011～2012年にかけて、全ての事業者はアルコール測定器の使用が義務付けられます。(事業用自動車総合安全プラン2009)

義務化に向けて
備えの1台です!

製造元 TD 東海電子株式会社
http://www.tokai-denshi.co.jp